

CF計算書⑦

貸倒引当金 未払法人税

【基本例題 CF計算書④】

Q. 営業活動によるCFを求めよ。

| | |
|-----------|--------|
| 売上高 | 10,000 |
| 売上原価 | 8,000 |
| 売上総利益 | 2,000 |
| 販管費 | 1,700 |
| （うち減価償却費） | (200) |
| 営業利益 | 300 |
| 受取利息 | 10 |
| 支払利息 | 30 |
| 経常利益 | 280 |
| 税引前当期純利益 | 280 |
| 法人税等 | 150 |
| 当期純利益 | 130 |

| 資産の部 | | 当期 | 増減 | 負債・純資産の部 | | 当期 | 増減 |
|--------|-------|------|----------|----------|-----|----|----|
| 現金・預金 | 425 | 251 | 仕入債務 | 500 | -90 | | |
| 売上債権 | 1,800 | -55 | 短期借入金 | 1,100 | 0 | | |
| 貸倒引当金 | -5 | -2 | 未払法人税等 | 20 | 4 | | |
| 棚卸資産 | 500 | 50 | 長期借入金 | 700 | 0 | | |
| 土地・建物 | 1,200 | -200 | 資本金 | 1,200 | 0 | | |
| 投資有価証券 | 200 | 0 | 利益剰余金 | 600 | 130 | | |
| 資産合計 | 4,120 | 44 | 負債・純資産合計 | 4,120 | 44 | | |

* 増減は対前期比

| 損益計算書 (要約) | | ①税引前当期純利益 280 | |
|---------------|------------|------------------|-------------|
| 売上高 | 10,000 | ②減価償却費 | 200 |
| 売上原価 | 8,000 | 貸倒引当金の増加額 | 2 |
| 売上総利益 | 2,000 | ③営業外収益 | -10 |
| 販管費 | 1,700 | ④営業外費用 | 30 |
| (うち減価償却費) ② | (200) | ⑤売上債権の増加額 | 55 |
| 営業利益 | 300 | ⑥棚卸資産の増加額 | -50 |
| 受取利息 ③ | 10 | ⑦仕入債務の増加額 | -90 |
| 支払利息 ④ | 30 | 小計 | 417 |
| 経常利益 | 280 | ⑧利息の受取額 | 10 |
| 税引前当期純利益 ① | 280 | ⑨利息の支払い額 | -30 |
| 法人税等 ⑩ | 150 | ⑩法人税等の支払額 | -146 |
| 当期純利益 | 130 | 営業CF | 251 |

| 貸借対照表 (要約) | | | | | |
|--------------|-----------|-----------|---------------|-----------|----------|
| 資産の部 | | | 負債・純資産の部 | | |
| 当期 | 増減 | | 当期 | 増減 | |
| 現金・預金 | 425 | 251 | 仕入債務 | 500 | -90 |
| 売上債権 | 1,800 | -55 | 短期借入金 | 1,100 | 0 |
| 貸倒引当金 | -5 | -2 | 未払法人税等 | 20 | 4 |
| 棚卸資産 | 500 | 50 | 長期借入金 | 700 | 0 |
| 土地・建物 | 1,200 | -200 | 資本金 | 1,200 | 0 |
| 投資有価証券 | 200 | 0 | 利益剰余金 | 600 | 130 |
| 資産合計 | 4,120 | 44 | 負債・純資産合計 | 4,120 | 44 |

* 増減は対前期比

そもそも貸倒引当金って？

売上債権について、貸倒れによる回収不能額という損失を見積計上したもの

・費用計上されているが実際のキャッシュアウトなし
・BSでは資産の部にマイナスで表示される

BSを見ると、貸倒引当金の増加額は2 (前期3→当期5) と分かるよ！

そもそも未払法人税って？

法人税等の未払額 = キャッシュアウトしない

未払法人税が4増えたということは、キャッシュアウトする額が4減ったということ！
⇒ 何もなければ -150 とするところを -146 とする！

【貸倒引当金・未払法人税のまとめ①】

貸倒引当金



取引先の倒産に備えて
売上債権の金額減らしておこう...



ポイント BSの資産サイドに**マイナス表示**される (= 売上債権のマイナスの意味合い)

増減額を正しく把握しよう！

例) 前期 0 当期 -10 → 新たに10の貸倒引当金を設定した (増加)
前期-10 当期 -15 → 貸倒引当金を5増やした

重要! 貸倒引当金の増加額(増加分)については実際にキャッシュアウトしていないので、
営業CF計算の際、加算調整する



減価償却費は、**減価償却費そのもの (全額)** を、
貸倒引当金は、**前期からの増加額** を加算調整するよ！

【貸倒引当金・未払法人税のまとめ②】

未払法人税

ポイント 未払法人税が増える



今期は未払いにして
来期支払おう～

➔ (今期のキャッシュの断面で見ると...) **キャッシュアウトを減らせてうれしい!**

重要!

未払法人税の増加額(増加分)については、
法人税の支払額 (小計以下でマイナスする金額) を減らす

- 例) PLの法人税の支払額が100の場合、何もなければ、営業CF計算で「法人税等の支払額」の表示は **-100**
- ・未払法人税が対前期比で **10 増加**しているとき、営業CF計算で「法人税等の支払額」の表示は **-90**
 - ・未払法人税が対前期比で **20 減少**しているとき、営業CF計算で「法人税等の支払額」の表示は **-120**



常に、**キャッシュ (現預金) がどう動くか** (= 増えるor減る) の観点で考えよう!

CF計算書⑧ CF計算書の分析 記述問題への対応

【基本例題】D社のCFの状況を述べよ！

Q1. 営業CF-30 投資CF 12 財務CF 20

【営業CFの計算書からの抜粋】

- ・売上債権の増加額 10
- ・棚卸資産の増加額 -100
- ・仕入債務の増加額 20

Q2. 営業CF-30 投資CF-12 財務CF 40

【営業CFの計算書からの抜粋】

- ・売上債権の増加額 -50
- ・棚卸資産の増加額 10
- ・仕入債務の増加額 -50

Q3. 営業CF 30 投資CF -50 財務CF 30

Q4. 営業CF 50 投資CF 5 財務CF -10

【CF分析記述問題への対応】



何の記述を求められている？



見る順番

- ① CF全体として良いか悪いか
+ ついでに財務CF確認
- ② FCFが良いか悪いか
+ ついでに投資CF確認
- ③ 営業CFが良いか悪いか

低

重要度

高



【①CF全体が良いか悪いか】



CF全体って？

営業CF + 投資CF + 財務CF → **全体としてのキャッシュの増減**

プラス → 当期にキャッシュが増えた = 良い

マイナス → 当期にキャッシュが減った = 悪い



①全体が プラスorマイナス をまず把握

②財務CFが プラスorマイナス を把握

財務CFプラス → **借入を増やして**キャッシュを増やしたということ

財務CFマイナス → **借入を返済して**キャッシュを減らしたということ

【②FCFが良いか悪いか】



FCF (フリーキャッシュフロー) って？

FCF = 営業CF + 投資CF → **企業が自由に使える資金**

プラス → 望ましい状態 = 良い

マイナス → 望ましくない状態 = 悪い (問題点 / 課題)



①FCFがプラスかマイナスかをまず把握！

マイナスであれば問題点 / 課題として必ず記述！

②同時に、投資CFがプラスかマイナスかを把握！

プラス → 固定資産の売却等でキャッシュを増やしたということ

マイナス → 新規の固定資産投資等でキャッシュを減らしたということ

【③営業CFが良いか悪いか】



営業CFって？

本業で生み出したキャッシュ

- プラス → 本業で稼げている = 良い
マイナス → 本業で稼げていない = 悪い（問題点 / 課題）



営業CFがマイナスであれば問題点 / 課題として必ず記述！



どういった要因で営業CFがマイナスになっているか見てみる！

【営業CFの分析（記述対応）】

①税引前当期純利益

②減価償却費

(③貸倒引当金の増加額)

④営業外収益

⑤営業外費用

(⑥有形固定資産の売却損益)

⑦売上債権の増加額

⑧棚卸資産の増加額

⑨仕入債務の増加額

(⑩その他流動資産の増加額)

(⑪その他流動負債の増加額)

小計

①利息の受取額

②利息の支払額

③法人税等の支払額

営業活動によるCF



運転資金の調整項目のどれかが大きくマイナスのはず！

パターン① 売上債権の増加（＝マイナス額）が大きい

「受取手形・売掛金の回収を進める」



「回収条件の見直し / 回収サイトの短期化」

パターン② 棚卸資産の増加（＝マイナス額）が大きい

「棚卸資産を減らす」



「在庫量の適正化を図る」

「在庫の早期現金化を図る」

パターン③ 仕入債務の減少（＝マイナス額）が大きい

「掛け仕入の推進を行う」



「支払条件の見直し / 支払サイトの長期化」

その他パターン 利息の支払額が大きい＝借入金が大きい



「借入金返済により支払利息の軽減を図る」

【基本例題】D社のCFの状況を述べよ！①

Q1. 営業CF-30 投資CF 12 財務CF 20

【営業CFの計算書からの抜粋】

- ・売上債権の増加額 10
- ・棚卸資産の増加額 -100
- ・仕入債務の増加額 20



これは結構やばめの
キャッシュフローだね



① 全体のCF = $-30 + 12 + 20 = 2$ プラスなので悪くはないが、財務CF = 借入金に依存



② FCF = $-30 + 12 = -18$ マイナスなので望ましくない。
投資CFがプラスなので、固定資産の売却などが考えられる



③ 営業CF = -30 マイナスなので望ましくない。棚卸資産の増加が原因



キャッシュフロー全体はプラスであるものの、**借入金に依存**している。

棚卸資産の増加を主な要因として営業CFがマイナスである。

投資CFがプラスで固定資産の売却などがあつたと考えられるが、それでもなお**FCFはマイナス**であり、**在庫量の適正化や在庫の早期現金化で営業CFおよびFCFをプラスにすることが課題**である。

【基本例題】D社のCFの状況を述べよ！②

Q2. 営業CF-30 投資CF-12 財務CF 40

【営業CFの計算書からの抜粋】

- ・売上債権の増加額 -50
- ・棚卸資産の増加額 10
- ・仕入債務の増加額 -50



これはかなりやばめの
キャッシュフローだね



創業期やベンチャー企業なら
こんなCFにもなりえるね！



① 全体のCF = $-30 - 12 + 40 = -2$ マイナスなので望ましくない。
財務CF = 借入金でも賄えていない



② FCF = $-30 - 12 = -42$ マイナスなので望ましくない。
投資CFがマイナスなので、(積極的に)投資している



③ 営業CF = -30 マイナスなので望ましくない。
売上債権の増加と仕入債務の減少が問題



キャッシュフロー全体は $\Delta 2$ 、FCFも $\Delta 42$ であり状況は悪い。

売上債権の増加と仕入債務の減少により営業CFがマイナスであるため、**売掛金の回収や回収条件・支払条件の見直しで営業CFをプラスにすることが課題**である。

この状況が続くと非常に危険なため、投資活動も慎重に判断すべきである。

【基本例題】D社のCFの状況を述べよ！③

Q3. 営業CF 30 投資CF -50 財務CF 30



①全体のCF = $30 - 50 + 30 = 10$

プラスなので悪くない。
財務CFはプラスなので借入を増やしていることが分かるね。



②FCF = $30 - 50 = -20$

マイナスなので望ましくない。
投資CFがマイナスなので、(積極的に)投資している



③営業CF = 30

プラスなのでOK。
本業でしっかりキャッシュを獲得できているね



キャッシュフロー全体は10とプラスなので緊急の問題はない。
ただし、投資CFが△50で営業CFの30を上回る形で積極的に投資しており、FCFはマイナスである。
財務CFで資金調達を賄っている状況であり、この状況が続くと望ましくないため、投資活動の見直しも必要である。



積極投資系のCFの形だね！

【基本例題】D社のCFの状況を述べよ！④

Q4. 営業CF 50 投資CF 5 財務CF -10



①全体のCF = $50 + 5 - 10 = 45$

プラスなので悪くない。
財務CFはマイナスなので借入を返済していることが分かる。



②FCF = $50 + 5 = 55$

プラスなので悪くない。
投資CFがプラスなので、固定資産の売却等が考えられる。



③営業CF = 50

プラスなのでOK。
本業でしっかりキャッシュを獲得できているね



キャッシュフロー全体とFCFはそれぞれ45, 55とプラスであり問題ない。
営業CFも50とプラスであり本業でしっかりキャッシュを獲得できている。
投資CFも現状プラスであるが、積極的に投資を行い成長を図ることが課題である。



営業CFがしっかりプラスなら、
積極的な投資も成長のためには必要だよ！

【CF分析記述問題への対応】



何の記述を求められている？



見る順番

- ① CF全体として良いか悪いか
+ ついでに財務CF確認
- ② FCFが良いか悪いか
+ ついでに投資CF確認
- ③ 営業CFが良いか悪いか

低

重要度

高

